



横浜市立相沢小学校

3月号 R3.2.26

学校だより



学校 HP QR コード

笑顔いっぱい。夢をはぐくむ あいざわっ子

校長 海老澤 孝代

梅の花が一斉に咲き始め、1年生が育てているチューリップの芽が急に伸びてきました。日差しが暖かくなり春の訪れを感じる頃となりました。この一年は健康と安全を第一に進めてまいりました。休業もありましたし、学校行事も大幅に変更しなければならないことも多くありましたが、保護者の皆様には温かいお気持ちでご協力いただきました。このように年度末を迎えることができましたことに、感謝申し上げます。

本年度も学校教育目標を「学びあい 認めあい 支えあい 夢をはぐくむ あいざわっ子」とし、笑顔いっぱいの学校を目指し、関わりを重視した教育活動を進めてまいりました。このような状況だからこそそのアイデアや工夫が随所に見られました。また新しい学習指導要領が実施され、目指す資質能力を『自分づくりに関する力』として、夢や希望をもち生き方を追求する姿勢を求めて授業改善を重ねてまいりました。懸念されていましたが、予定された学習内容はすべて終わることができそうです。また ESD 推進校・読みのスキル (MIM) 推進校として、学力向上についても取り組みました。振り返りますと、一日一日が大切なことを改めて気づかされた一年でもありました。

さて、3月19日には、6年生に卒業証書を手渡します。6年生は、輝き・希望・絆・勇気の星々が集まった『銀河』を学年目標として、この一年取り組んできました。例年通りにいかなく戸惑うこともあったことでしょう。それでも一人一人が輝こうと、委員会やお世話活動、学習、学校行事など、下級生の手本となるように自ら行動し、活躍してくれました。特に SDGsに出会ったことで、大きく成長しました。そして、自分から行動することの大切さを実感したことと思います。ESD 推進校として交流のあった中学生から、「私は考えているだけではなくそれをアウトプット、行動することで現実世界が変わっていくことを学びました。その行動する力を相沢小学校のみなさんはもっているのです。その行動力に自信をもって相沢のまちから世界と一緒に変えていきましょう。」と手紙をいただきました。また各分野で活躍されている方との交流もあり、世界にそして未来に視野を広げていきました。この相沢小学校で学んだことに自信をもち、夢に向かって進んでほしいです。

そして、その伝統を受け継ぐ5年生。5年生も『いのち列車』を学年目標に、輝く6年生駅に向かって旅を続けてきました。メダカや稲を育てていた頃は、先生に言われる前にもう少し自分から行動したいと振り返っていました。駅を通過するたびに、まだまだ自分から動けていない、高学年らしくしたい、自分から声を出し仲間をフォローしたい、仲間と協力して力を出せたと、高学年として成長してきました。もう目の前に輝く6年生駅。今までの伝統や6年生の意思をしっかり受け継ぎ、きっと力を発揮してくれると信じています。

相沢小学校の子どもたちが、たくさんの力を身に付け自信と誇りをもって笑顔いっぱいに新しい生活をスタートできるように、残り少ない日々を丁寧に指導していきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



学びあい 認めあい 支えあい
夢をはぐくむ あいざわっ子